

枚方市立図書館第3次グランドビジョン「全施策」進捗状況表

参考資料 1

【運営方針①】基礎的な図書館サービスを充実します

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 | |
|-----------------|--|---|------------------|--------------------|---|-------------------------------------|------|--------|-----|------------------|--|---|--|--|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 1年・令和元 | | | | | | 令和2年度 |
| a. 資料・情報収集機能の充実 | 図書館が収集すべき資料・情報とその考え方の明確化(バランス重視の資料・情報収集) | 知識・教養・考えるための蔵書と課題解決のための情報資源のバランスを考慮した資料・情報収集 | 従前の取り組みを継続 | 満足度調査(蔵書バランス) | □知識・教養系と課題解決系のバランスの考え方の明確化 | □蔵書計画基本指針・選書基準に示された左記考え方に基づく資料・情報収集 | □同左 | □同左 | □同左 | → | ・蔵書計画基本指針・選書基準の改訂を行った。 ・バランスを考慮した資料・情報収集に際し、蔵書・利用状況のデータ分析のあり方について検討を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、やや満足が63.7%、やや不満、不満が15.3%であった。 | ・枚方市立図書館蔵書計画の改訂に向けた検討を行い、平成30年3月に改訂を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が63.7%、やや不満、不満が11%であった。 | ・平成30年3月に改訂した枚方市立図書館蔵書計画に基づき、市民ニーズを考慮しつつ、蔵書・利用状況のデータ分析を行いながらバランスのとれた選書を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が84.4%、やや不満、不満が13.6%であった。 | ・平成30年3月に改訂した枚方市立図書館蔵書計画に基づき、市民ニーズを考慮しつつ、蔵書・利用状況のデータ分析を行いながらバランスのとれた選書を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が84.4%、やや不満、不満が13.6%であった。 |
| | | 活字資料とオーディオ・ビジュアル資料・電子情報等のバランスを考慮した資料・情報収集(ハイブリッド型資料収集の推進) | 従前の取り組みを継続 | 満足度調査(蔵書バランス) | □活字とそれ以外の資料のバランスの考え方の明確化 | □蔵書計画基本指針・選書基準に示された左記考え方に基づく資料・情報収集 | □同左 | □同左 | □同左 | → | ・蔵書計画基本指針・選書基準の改訂を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、やや満足が60.3%、やや不満、不満が15.3%であった。 | ・枚方市立図書館蔵書計画の改訂に向けた検討を行い、平成30年3月に改訂を行った。 ・バランスを考慮した資料・情報収集に際し、蔵書・利用状況のデータ分析のあり方について検討を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が63.7%、やや不満、不満が11%であった。 | ・平成30年3月に改訂した枚方市立図書館蔵書計画に基づき、市民ニーズを考慮しつつ、蔵書・利用状況のデータ分析を行いながらバランスのとれた選書を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が84.4%、やや不満、不満が13.6%であった。 | ・平成30年3月に改訂した枚方市立図書館蔵書計画に基づき、市民ニーズを考慮しつつ、蔵書・利用状況のデータ分析を行いながらバランスのとれた選書を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が84.4%、やや不満、不満が13.6%であった。 |
| | | 課題解決支援の重点的な取り組み、滞在型図書館への移行を踏まえた資料・情報収集 | 28年度以降継続 | 重点分類等の資料受入冊数 | □課題解決型・滞在型図書館への移行を踏まえた資料・情報収集の考え方の明確化 | □蔵書計画基本指針・選書基準に示された左記考え方に基づく資料・情報収集 | □同左 | □同左 | □同左 | → | 蔵書計画基本指針・選書基準の改訂を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、やや満足が60.3%、やや不満、不満が15.3%であった。 | ・枚方市立図書館蔵書計画の改訂に向けた検討を行い、平成30年3月に改訂を行った。 ・バランスを考慮した資料・情報収集に際し、蔵書・利用状況のデータ分析のあり方について検討を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が63.7%、やや不満、不満が11%であった。 | ・平成30年3月に改訂した枚方市立図書館蔵書計画に基づき、市民ニーズを考慮しつつ、蔵書・利用状況のデータ分析を行いながらバランスのとれた選書を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が84.4%、やや不満、不満が13.6%であった。 | ・平成30年3月に改訂した枚方市立図書館蔵書計画に基づき、市民ニーズを考慮しつつ、蔵書・利用状況のデータ分析を行いながらバランスのとれた選書を行った。 ・左記蔵書バランスについての満足度調査結果は、満足、概ね満足が84.4%、やや不満、不満が13.6%であった。 |
| | 蔵書計画基本指針等の改訂・選書方法の改善 | 第3次グランドビジョンの考え方に合わせた蔵書計画基本指針・選書基準の改訂 | 28年度達成予定 | 改訂の実施・未実施 | □蔵書計画基本指針・選書基準の改訂 | → | | | | | 蔵書計画基本指針・選書基準の改訂を行った。 | 枚方市立図書館蔵書計画の改訂に向けた検討を行い、平成30年3月に改訂を行った。 | 平成30年3月に改訂を行った。 | 枚方市立図書館蔵書計画に基づいた選書・資料収集を行った。 |
| | | 中央図書館を核とした選書方法の確立 | 28年度達成予定 | 選書方法の確立・未確立 | □選書方法の確立 | → | | | | | 指定管理者制度の先行導入館を含めた選書方法を確立した。 | すべての分館への指定管理者制度導入を前提とした選書方法を検討した。 | 指定管理者制度を前提とした選書方法を確立し円滑に実施した。 | 指定管理者制度を前提とした選書方法を確立し円滑に実施した。 |
| | 市民ニーズに基づく資料・情報収集 | 未利用者のニーズの把握と貸出傾向の分析に基づく資料・情報収集への反映 | 28年度以降継続 | 満足度調査(蔵書バランス) | □未利用者を含む幅広い市民を対象とした図書館資料に係るアンケートの実施とその分析 | □同左 | □同左 | □同左 | □同左 | → | 図書館を利用していないと回答した人のうち、19.6%の人が話題の本やベストセラー本の充実を求めている。 次いで、15.2%の人が専門書や雑誌の充実を求めている。 また、8.7%の人が日常生活で役立つ情報が書かれた実用書、枚方市の郷土資料、行政資料、絶版となった本など古い本といった図書館でなければ利用することのできない本の充実を求めている。 | 図書館を利用していないと回答した人のうち、12.5%の人が専門書や雑誌の充実を求めている。 次いで、10.4%の人が話題の本やベストセラー本の充実を求めている。 また、10.4%の人が日常生活で役立つ情報が書かれた実用書、枚方市の郷土資料、行政資料、絶版となった本など古い本といった図書館でなければ利用することのできない本の充実を求めている。 | 図書館を利用していないと回答した人のうち、15.2%の人が話題の本やベストセラー本の充実を求めている。 次いで、13%の人が専門書や雑誌の充実を求めている。 また、8.7%の人が日常生活で役立つ情報が書かれた実用書、枚方市の郷土資料、行政資料、絶版となった本など古い本といった図書館でなければ利用することのできない本の充実を求めている。 | 図書館を利用していないと回答した人のうち、16.3%の人が専門書の充実を求めている。 次いで、絶版となった本など古い本(14%)や枚方市の郷土資料、行政資料(11.6%)といった図書館でなければ利用することのできない本の充実を求めている。 また9.3%の人が視聴覚資料や日常生活で役立つ情報が書かれた実用書、話題の本やベストセラー本の充実を求めている。 |
| | | | | | □貸出傾向分析(利用者ニーズの把握) | □同左 | □同左 | □同左 | □同左 | → | | | | |
| | 枚方地域コレクションの充実 | 積極的な寄贈の募集を含むさらなる網羅的なコレクションの充実 | 28年度以降継続 | コレクションの受入冊数 | □コレクションの収集計画の作成 | □収集計画に基づく収集 | □同左 | □同左 | □同左 | → | ・蔵書計画基本指針・選書基準に基づく選書・収集を行った。 ・コレクション収集計画については、他部署・民間等他組織への提供依頼を定期的に行うこととした。 | ・蔵書計画基本指針・選書基準に基づく選書・収集を行った。 ・枚方市立図書館蔵書計画の改訂を行い、30年度に向け、計画に沿った選書・収集の検討を行った。 | ・蔵書計画基本指針・選書基準に基づく選書・収集を行った。 ・枚方市立図書館蔵書計画の改訂を踏まえ、計画に沿った選書・収集を行った。 | ・蔵書計画基本指針・選書基準に基づく選書・収集を行った。 ・枚方市立図書館蔵書計画の改訂を踏まえ、計画に沿った選書・収集を行った。 |
| | | 郷土行政資料の電子化 | 28年度以降継続 | 電子化冊数 | □電子化に必要な機器・システム構築に必要な予算要求 □郷土・行政資料の電子化計画の作成 □予算化を受けて、計画に基づく電子化作業を開始 | → | | | | | ・電子化に必要な機器の購入・設置を行った ・郷土行政資料の電子化リストを作成した ・行政資料の電子化のため、庁内へ電子化の許諾申請を行った | ・電子化の機器の使用に際する設定を完了 ・電子化リストに基づいて147件の資料を電子化。広域ひらかたのデータ220件と合わせて367件 | ・電子化リストに基づいて71件の資料を電子化。 ・郷土行政資料の電子化データ 438件 | ・電子化リストに基づいて12件の資料を電子化。 ・郷土行政資料の電子化データ 450件 |
| | | 枚方地域コレクションの周知 | 28年度以降継続 | 枚方地域コレクションの認知度調査結果 | □館内でのコレクション周知を図るポスター掲示、ホームページでのコレクションの紹介などの積極的なPRを実施 □市史資料室との連携事業の開催 | □同左 | □同左 | □同左 | □同左 | → | ・ホームページでの枚方地域コレクション紹介を掲載した。 ・歴史講座「地名からみた枚方」を開催、元市史資料室職員の講座を実施した。 | ・地域で発行された資料を図書館だよりで紹介するとともに、ホームページでの枚方地域コレクション紹介を掲載した。 | ・ホームページ上で「枚方に縁のある作家・著作リスト」を随時更新 ・「森繁久彌没後10年」としてホームページで関連著作を紹介した。 ・「写真でたどる枚方」を特集展示した。 | ・ホームページ上で「枚方に縁のある作家・著作リスト」を随時更新 ・「森繁久彌没後10年」としてホームページで関連著作を紹介した。 ・「写真でたどる枚方」を特集展示した。 |

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 |
|------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|------------------|---|---|--|------|------|------|---|--|--|-------------------------------|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | |
| a. 資料・情報収集機能の充実 | 商用オンラインデータベースの充実 | データベースの周知と利用促進 | 従前の取り組みを継続 | データベースの認知度調査結果と利用回数 | 館内でのデータベースの周知を図るポスターの掲示、ホームページでのコレクションの紹介を行った。 →オンラインデータベースの利用回数(22回) →国会デジタルコレクション利用回数(163回) →国会デジタルコレクション複写枚数(896枚) →歴史的音源利用回数(44回) | 同左 | 同左 | 同左 | 同左 | 館内でのデータベースの周知を図るポスターの掲示、ホームページでのコレクションの紹介を行った。 →オンラインデータベースの利用回数(30回) →国会デジタルコレクション利用回数(191回) →国会デジタルコレクション複写枚数(823枚) →歴史的音源利用回数(76回) | 館内でのデータベースの周知を図るポスターの掲示、ホームページでのコレクションの紹介を行った。 →オンラインデータベースの利用回数(30回) →国会デジタルコレクション利用回数(226回) →国会デジタルコレクション複写枚数(385枚) →歴史的音源利用回数(76回) | 館内でのデータベースの周知を図るポスターの掲示、ホームページでのコレクションの紹介を行った。 →オンラインデータベースの利用回数(43回) →国会デジタルコレクション利用回数(77回) →国会デジタルコレクション複写枚数(745枚) →歴史的音源利用回数(16回) | |
| | | 新たなデータベースの導入の検討 | 29年度達成予定 | 検討の実施・未実施 | 市立図書館での利用が期待できるデータベースの調査・研究 | 費用対効果の観点も踏まえ、導入すべきデータベースの有無を確定 | | | | 市立図書館での利用が期待できるデータベースの検討を行った。 | (同左) | 朝日新聞社の開蔵Ⅱのオプション導入により地方が利用可能となった。 | |
| | 電子書籍の導入に向けた積極的な情報収集 | 図書館向け電子書籍の出版動向及び公立図書館における電子書籍導入状況調査 | 28年度以降継続 | 調査の実施・未実施 | 図書館向け電子書籍の出版動向の調査 公立図書館における電子書籍導入状況調査 | 平成29年度に電子書籍取扱事業者からの情報収集を行うとともに、先行導入の自治体の導入事例の調査を行った。 平成29年7月に未利用者も対象にしたスマホアンケートでは、電子書籍の提供を求める人は2.2% | 同左 | 同左 | 同左 | 電子書籍の情報収集を行うとともに、先行導入の自治体の導入事例の調査を行った。 平成30年8月に未利用者も対象にしたスマホアンケートでは、電子書籍の提供を求める人は6.3% | 電子書籍の情報収集を行うとともに、先行導入の自治体の導入事例の調査を行った。 令和元年6月に未利用者も対象にしたスマホアンケートでは、電子書籍の提供を求める人は4.3% | 電子書籍の情報収集を行うとともに、先行導入の自治体の導入事例の調査を行った。 令和2年7月に未利用者も対象にしたスマホアンケートでは、電子書籍の提供を求める人は2.3% | |
| b. 資料・情報提供機能の充実 | 求めに応じたレファレンスサービスの充実 | レファレンスサービスの周知と利用促進 | 従前の取り組みを継続 | レファレンスサービスの認知度調査結果と利用回数 | 「レファレンスサービス」の文言のカウンター上への掲示の義務付け及び可能な範囲での専門コーナー設置 館内での「レファレンスサービス」の周知を図る掲示及びホームページでの重点的な周知 | | | | | 「レファレンスサービス」の表示を行い、窓口や電話でのレファレンスに応じた。 レファレンスに関する認知度調査結果は、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は19.7%、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は32.3%、サービス自体を「知らない」と回答した利用者の割合は46.3%であった。 | 参考資料室とレファレンスサービスの周知のため、ポスターを3種類作成し、館内に掲示するとともに、中央図書館のデジタルサイネージでもPRを行っている。 読書週間に際して、「天使のいる図書館」上映会を行った。またバックヤードツアーではレファレンスなど色々なサービスを紹介した。 「図書館で本を探すには？」を発行し、館内OPAC検索後の探し方を案内した。 レファレンスに関する認知度調査結果は、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は14.3%、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は34.5%、サービス自体を「知らない」と回答した利用者の割合は49.7%であった。 平成30年度の中央図書館・分館のレファレンス件数合計は2,154件 | 参考資料室とレファレンスサービスの周知のため、ポスターを3種類作成し、館内に掲示するとともに、中央図書館のデジタルサイネージでもPRを行っている。 読書週間に際して、「天使のいる図書館」上映会を行った。またバックヤードツアーではレファレンスなど色々なサービスを紹介した。 「図書館で本を探すには？」を発行し、館内OPAC検索後の探し方を案内した。 レファレンスに関する認知度調査結果は、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は12.8%、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は37.9%、サービス自体を「知らない」と回答した利用者の割合は47.4%であった。 平成31年度の中央図書館・分館のレファレンス件数合計は1,811件 | |
| | | 資料収集基準の再検討 | 28年度達成予定 | 基準改訂の実施・未実施 | 収集基準改訂 | 蔵書計画基本指針・選書基準の改訂作業を行った。 | | | | | 枚方市立図書館蔵書計画の改訂を行った。 | (同左) | (同左) |
| | | 資料選定システムの改善 | 28年度達成予定 | システム改善の実施・未実施 | 効率化の観点からの予約・リクエスト資料選定システムの見直し・改善 | 中央図書館選書担当にリクエスト選定システムを集約し、効率化を図った。 | | | | | すべての分館への指定管理者制度導入を前提とした選書方法を検討した。 | 指定管理者制度を前提とした選書方法を確立し円滑に実施した。 | 指定管理者制度を前提とした選書方法を確立し円滑に実施した。 |
| | 予約・リクエストサービスの充実 | 未所蔵資料の提供に係る基準の再検討 | 28年度達成予定 | 基準見直しの実施・未実施 | リクエスト受付範囲となる市立図書館の資料収集範囲の明確化及びリクエスト図書の見直し・改善 | 蔵書計画基本指針・選書基準に基づく選書を行い、入手の可否や価格などを判断基準とする運用を行った。 | | | | | 未所蔵資料の提供に係る基準について再検討し、改訂した枚方市立図書館蔵書計画、及び枚方市立図書館リクエスト取扱要領に基づく運用を行った。 | (同左) | (同左) |
| | 充実した障害者サービスの継続 | 充実した障害者サービスの継続的な提供 | 従前の取り組みを継続 | * 対面読書実施回数 * 点字・録音資料貸出冊数 * 手話ブックトーク実施回数 | 対面読書や点字・録音資料の製作・貸出、手話ブックトーク、手話で楽しむお話し会、バリアフリー映画上映会など、従来実施してきたサービスの提供 | 大活字図書、録音(デジジー)図書等の収集・提供の充実を図り、図書館システムの更新に伴い貸出処理方法の大幅な変更を行った。 大活字図書は280冊、録音図書は87タイトルを受け入れ、それぞれ4,781冊(下半期の)、5,885タイトル(相互貸借分を含む)を貸出した。 対面読書は、16人の利用者に対して363回実施した。 イベントについては、バリアフリー映画上映会(ワークショップ/中央)、バリアフリー体験会(ワークショップ/中央)、出前講座(中央)、公開講座(中央)、公開講座(中央)、おはなし会・手話であそぼう(津田)、手話ブックトーク(中央)、ミニ手話ブックトーク(津田)を実施し、計866人の参加があった。 | 同左 | 同左 | 同左 | 大活字本や録音(デジジー)図書等の収集・提供の充実を図った。 大活字本は57冊、録音図書は66タイトルを受け入れ、それぞれ、8,854冊(BM以外)、4,890タイトル(相互貸借分を含む)を貸出した。 対面読書は、16人の利用者に対して363回実施した。 イベントについては、バリアフリー映画上映会(ワークショップ/中央)、バリアフリー体験会(中央・牧野)、バリアフリー体験会(ワークショップ/中央)、出前講座(中央)、公開講座(中央)、おはなし会・手話であそぼう(津田)、手話ブックトーク(中央)、ミニ手話ブックトーク(津田)を実施し、計866人の参加があった。 | 大活字本や録音(デジジー)図書等の収集・提供の充実を図った。 大活字本は153冊、録音図書は48タイトルを受け入れ、それぞれ、1225冊(BM含む)、4106タイトル(相互貸借分を含む)を貸出した。 対面読書は、16人の利用者に対して357回実施した。 イベントについては、バリアフリー映画上映会(ワークショップ/中央)、バリアフリー体験会(中央・牧野)、バリアフリー体験会(ワークショップ/中央)、出前講座(中央)、公開講座(中央)、おはなし会・手話であそぼう(津田)、手話ブックトーク(中央)、言葉を使わないコミュニケーション・ワークショップ(こども夢基金活用事業/中央)を実施し、計1421人の参加があった。 | 大活字本や録音(デジジー)図書等の収集・提供の充実を図った。 大活字本は153冊、録音図書は48タイトルを受け入れ、それぞれ、1225冊(BM含む)、4106タイトル(相互貸借分を含む)を貸出した。 対面読書は、12人の利用者に対して322回実施した。 イベントについては、バリアフリー体験会(ワークショップ/中央)、出前講座(中央)、公開講座(中央)、手話であそぼう(津田)、手話ブックトーク(中央)を実施し、計1413人の参加があった。 なお、バリアフリー映画上映会(中央・牧野)、第3回手話ブックトーク、手話であそぼうお話し会2回(2月と3月)は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。 | |
| 各種イベントを通じた読書や図書館への興味・関心を育て、利用を促進する | 各年齢層向けの各種イベント(おはなし会・読書会等)の実施 | 従前の取り組みを継続 | イベント実施回数・参加者数 | イベントの年間実施計画の作成 実施計画に基づくイベントの実施 | 計画的に各年齢層向けの各種イベント(おはなし会など)を行った。 | 同左 | 同左 | 同左 | 同左 | 計画的に各年齢層向けの各種イベント(おはなし会・工作・読書会など)を行った。 大人の学校開催(3回、計79名参加) | 計画的に各年齢層向けの各種イベント(おはなし会など)を行った。 ライブラリーコンサートを3回開催した。 大人の学校開催(5回、計174名参加) 元気が出る音読講座(10回、計340名参加) バックヤードツアー(43名参加) バックヤードツアー(36名参加) 「天使のいる図書館」上映会(55名参加) | 計画的に各年齢層向けの各種イベント(おはなし会など)を行った。 ライブラリーコンサートを2回開催した。 「図書館を使いこなす講座」開催 ライブラリーコンサートを3回開催した。 大人の学校開催(5回、計174名参加) 元気が出る音読講座(10回、計340名参加) バックヤードツアー(43名参加) バックヤードツアー(36名参加) 「天使のいる図書館」上映会(55名参加) | |

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 | | |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------|------------------|--------------------------------|--|---|---|--|-----------------------------------|---------------------------------------|---|---|---|---|---|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | | | |
| b. 資料・情報提供機能の充実 | 宅配サービスの充実 | サービスの積極的なPR | 従前の取り組みを継続 | * 宅配サービス利用者数 * サービスの認知度調査結果 | <input type="checkbox"/> 館内での宅配サービス周知を図るポスター掲示 <input type="checkbox"/> ホームページでのサービスの紹介などの積極的なPRを実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 館内でのポスター掲示やホームページでのサービスの紹介などを行った。 | ・館内でのポスター掲示やホームページでのサービスの紹介などを行った。 ・宅配サービス延べ利用者数(85人)貸出冊数230冊 | ・館内でのポスター掲示やホームページでのサービスの紹介などを行った。 ・宅配サービス延べ利用者数(154人)貸出冊数472冊 | ・館内でのポスター掲示やホームページでのサービスの紹介などを行った。 ・宅配サービス延べ利用者数(116人)貸出冊数249冊 | | |
| | 貸出・返却ポイントのさらなる充実策の検討 | 費用対効果を踏まえた新たな貸出・返却ポイントの設置可能性の検討 | 32年度達成予定 | 検討の実施・未実施 | | | | | <input type="checkbox"/> 設置可能性の検討 | 平成32年度に検討予定 | 駅前サービスポイントに返却ポストを設置した。 | 香里ヶ丘図書館の建て替えに伴い、香里ヶ丘図書館代替サービスポイントを設置し、香里ヶ丘中央公園への自動車文庫巡回を開始した。 | 香里ヶ丘図書館代替サービスポイント及び、香里ヶ丘中央公園への自動車文庫巡回により、香里ヶ丘図書館の代替サービスを実施した。 | | |
| c. 資料・情報保存機能の充実 | 既存スペースの有効活用・新たな書庫スペースの確保による魅力的な蔵書群の構築 | 書庫の有効活用策の検討 | 29年度達成予定 | 検討の実施・未実施 | <input type="checkbox"/> 書庫の使用状況調査 <input type="checkbox"/> 効率的な書庫利用方法の検討 | | | | | 全館的に書庫が満杯状態となっているため、廃棄基準等を見直し作業を行った。 | 情報の古くなった資料を中心に、利用のない資料の整理を行った。 | 情報の古くなった資料を中心に、利用のない資料の大阪府立図書館の蔵書状況も調査しながら、整理を行った。 | (同左) | | |
| | | 新たな書庫スペースの確保に向けた検討 | 29年度達成予定 | 検討の実施・未実施 | <input type="checkbox"/> 中央図書館内の空きスペースの活用の検討 <input type="checkbox"/> 図書館外に書庫スペースを確保した場合の運用可能性の検討 <input type="checkbox"/> （運用可能な）図書館外の書庫スペースの検討 | | | | | 書庫スペースの有効活用を図るため、蔵書保存基準の見直しに係る検討を行った。 | 利用実態に合わせた書庫内レイアウトの見直しを行い、新たな収納スペースを増やした。 | 利用実態に合わせた書庫内レイアウトの見直しを行い、新たな収納スペースを増やした。 | (同左) | | |
| | | 蔵書保存基準・蔵書除籍基準の改訂 | 28年度達成予定 | 改訂の実施・未実施 | <input type="checkbox"/> 基準の改訂 | | | | | 蔵書保存基準・蔵書除籍基準の改訂作業を行った。 | 枚方市立図書館蔵書計画の改訂に向けた検討を行い、蔵書等管理基準を改訂した。 | 改訂した枚方市立図書館蔵書計画、及び蔵書等管理基準に基づく運用を行った。 | (同左) | | |
| d. 図書館という空間の魅力向上 | 滞りやすい環境整備 | (参考事例) | | | | | | | | | | | | | |
| | | * 座席数の拡大 | | | <input type="checkbox"/> 座席数拡大計画の立案 | <input type="checkbox"/> 机・イス購入費用の予算要求 | <input type="checkbox"/> 座席数の拡大 | | | | 平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。 | 平成30年3月に中央図書館に自学・自習コーナーをさだ図書館、牧野図書館ではラーニングルームを試用設置し、4月1日から本格実施した。(中央図書館27席、さだ図書館24席、牧野図書館24席の座席数拡大を行った) | 中央図書館に自学・自習コーナー、さだ図書館、牧野図書館にラーニングルーム、さらに御殿山図書館では自学自習タイムを実施した。座席数拡大を行った。(中央図書館27席、さだ図書館24席、御殿山図書館16席) | 中央図書館に自学・自習コーナー、さだ図書館、御殿山図書館にラーニングルーム、令和2年1月からは、新たに津田図書館で自学自習タイムを実施した。(中央図書館24席、御殿山図書館16席、津田図書館12席) | |
| | | * 飲み物コーナーの設置 | | | <input type="checkbox"/> 図書館での飲み物持込ルール作成 | <input type="checkbox"/> 可能な館でのコーナー設置 | <input type="checkbox"/> 座席の拡大と合わせたコーナー設置 | | | | 平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。 | 館内レイアウトの見直しも含め引き続き検討を行う。 | 楠葉図書館、菅原図書館、津田図書館、御殿山図書館で夏季限定で飲料水の提供サービスを行った。 | (同左) | |
| | | * 居場所としての機能のPR | | | <input type="checkbox"/> 市民の居場所機能に着目した滞在型図書館を目指すことの実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | | | 夏季に「避暑空間」としての図書館利用のPRを行った。 | (同左) | (同左) | (同左) | |
| | | * お一人様スペースの設置 | | | <input type="checkbox"/> （設置可能な年度から）机をパーテーションで区切るなど、一人になれるスペースの確保に向けた計画の立案及び実施 | | | | | | 館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。 | 館内レイアウトの見直しも含め引き続き検討を行う。 | (同左) | (同左) | |
| | 滞り型図書館への移行 | (参考事例) | | | | | | | | | | | | | |
| | | * 自習室の設置等、和やかスペースと静かな環境の分離 | | | | <input type="checkbox"/> 館ごとの設置場所及び管理手法等の検討 | <input type="checkbox"/> 最低限の施設改修に必要な予算要求 | <input type="checkbox"/> 施設改修後に（仮称）自習室を設置・運用開始 | | | | 平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。 | 平成30年3月に中央図書館に自学・自習コーナーをさだ図書館、牧野図書館ではラーニングルームを試用設置し、4月1日から本格実施した。(中央図書館27席、さだ図書館24席、牧野図書館24席の座席数拡大を行った) | 中央図書館に自学・自習コーナー、さだ図書館、牧野図書館にラーニングルーム、さらに、御殿山図書館では自学自習タイムを実施した。座席数拡大を行った。(中央図書館27席、さだ図書館24席、御殿山図書館16席) | 中央図書館に自学・自習コーナー、さだ図書館、御殿山図書館にラーニングルーム、令和2年1月からは、新たに津田図書館で自学自習タイムを実施した。(中央図書館24席、御殿山図書館16席、津田図書館12席) |
| | | * グループ学習が可能な場の確保 | | | | <input type="checkbox"/> 中央図書館でのグループ学習室の運用開始及び分館でのセンター利用を前提としたグループ学習利用の検討 | | <input type="checkbox"/> 分館での運用開始 | | | 平成29年度に館内レイアウトの見直しも含め検討を行う。 | さだ図書館、牧野図書館ではグループ学習もできるラーニングルームを試用設置し、4月1日から本格実施した。 | (同左) | (同左) | |
| | | * Wi-Fi環境整備の検討 | | | | <input type="checkbox"/> 指定管理館での環境整備 | <input type="checkbox"/> 中央図書館での環境整備の検討及び予算要求 | <input type="checkbox"/> 中央図書館・分館でのWi-Fi環境の提供 | | | 蹠谷・牧野の2階ロビーでWi-Fi環境が整備された | ・複合分館6館の2階ロビーでWi-Fi環境の提供を行った。 ・中央図書館は引き続き検討を行う。 | ・複合分館6館の2階ロビーでWi-Fi環境の提供を行った。 ・牧野図書館は引き続き検討を行う。 | ・複合分館6館の2階ロビーでWi-Fi環境の提供を行っている。 ・牧野図書館でラーニングルームにWi-Fi環境を整備した。 ・中央図書館は引き続き検討を行う。 | |
| | | | | | | | | | | | 図書館の学習環境整備に関する満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は30.2%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は36.7%であった。 | 図書館の学習環境整備に関する満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は34.8%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は22.9%であった。 | 図書館の学習環境整備に関する満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は67.9%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は28.6%であった。 | 図書館の学習環境整備に関する満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は68.1%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は25.7%であった。 | |

【運営方針②】家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能を強化します

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 | |
|---------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|---|--|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|---|---|--|---|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | | | |
| a. 課題解決 支援 | 情報活用能力の育成 | 図書館及び情報活用講座の開催 | 28年度以降継続 | 開催の有無及び回数・参加者数 | <input type="checkbox"/> 講座実施計画の作成 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | 「レファレンス体験」の実施 (年10回 計14人参加) | ・「図書館レファレンス体験」の実施(年4回 計7人参加) ・バックヤードツアー開催(年2回 計19人参加) | ・バックヤードツアー開催(年1回 計43人参加) ・ツアー内では、レファレンスサービスのPRや辞書や事典、郷土・行政資料などのレファレンスツールの紹介も行った。 | ・図書館を使いこなす講座開催(年1回、17名参加) ・バックヤードツアー開催(読書週間中の1日に2回、36名参加)レファレンスサービスや利用できるデータベースの紹介をした。 | |
| | | ビブリオバトルの実施 | | 開催の有無及び回数・参加者数 | <input type="checkbox"/> ビブリオバトルの開催 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | | | | | → |
| | 社会状況を踏まえたレファレンス・レフェラルサービスの充実 | 子育て・医療・健康づくり関連の資料・情報提供、講座等の開催 | 28年度以降継続 | *左記主題のレファレンス・レフェラルサービス件数 | <input type="checkbox"/> 専門コーナーの設置 <input type="checkbox"/> 窓口や出入口付近への図書館作成関連情報提供パンフの設置 <input type="checkbox"/> 関連講座の開催 など | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | ・子育て・子どもに関するバスファインダーを作成した。 ・平成29年度に子育て・健康づくりをテーマにした特集コーナーの設置を行う。 | ・利用者の医療に関するレファレンスキーワードを中心に購入資料選定を行うとともに、中央図書館開館時に購入した医療関係資料の更新した。出産、育児、子育てに関連する資料の収集に留意した。 ・中央図書館では、人権啓発講演会「LGBTと多様性」、香里ヶ丘図書館では、「子育て世代のためのマネー講座」を開催した。 | ・出産、育児、子育てに関連する資料の収集に留意した。 ・バスファインダー「認知症について調べる」「医療・健康情報を調べる」等を作成・発行 ・社会教育課の講座に合わせてブックリスト配布(認知症、発達障害) ・DV予防教育用にブックリスト配布(小4対象6枚) | ・出産、育児、子育てに関連する資料の収集に留意した。 ・平成31年、令和元年度の中央図書館・分館のレファレンス件数合計は1,811件 |
| | | その他社会状況を踏まえた必要な資料・情報提供、講座等の開催 | | *満足度調査(資料・情報提供等に対する積極的な姿勢) | <input type="checkbox"/> 就労・福祉・年金・生きがい作り・地域づくりほか、市民が抱えるさまざまな課題の解決に必要な資料・情報の提供及び関連講座等の開催 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | | | | |
| | 図書館ホームページを通じた情報提供 | バスファインダーの充実 | 従前の取り組みを継続 | バスファインダー項目数 | <input type="checkbox"/> バスファインダー充実計画の作成と実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | バスファインダーを作成、配布し、ホームページに掲載した。 | バスファインダーを作成、配布し、ホームページに掲載した。一部更新も行った。 | (同左) | (同左) | |
| | | レファレンス事例集の充実 | 従前の取り組みを継続 | 事例集の項目数 | <input type="checkbox"/> レファレンス事例集充実計画の作成と実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | → | レファレンス事例として記録を保存・蓄積している。 | レファレンス事例として記録を保存・蓄積している。 | レファレンス事例として記録を保存・蓄積している。 | レファレンス事例として記録を保存・蓄積している。 ・国会図書館のレファレンス協同データベースに事例登録 |
| | b. 地域社会の結びつきの再生に向けた支援 | 図書館主催事業を通じた人と人がつながる機会の提供 | 同じ課題・悩み・目的意識を持つ市民をつなぐ各種講座等の開催(参考事例) | | | | | | | | | | | | |
| | | | *子ども読書ボランティア等の図書館ボランティアの育成講座 | | | <input type="checkbox"/> 読書・図書館関係のボランティア育成講座の計画的な開催 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 子ども読書ボランティア等の図書館ボランティアの育成講座を開催した(5回 230人参加) | 子ども読書ボランティア等の図書館ボランティアの育成講座を開催した(346人参加) | 子ども読書ボランティア等の図書館ボランティアの育成講座を開催した(600人参加) | 子ども読書ボランティア等の図書館ボランティアの育成講座を開催した(100人参加)。ボランティア交流会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対策のため中止した。 |
| | | | *子育て支援講座 | | | <input type="checkbox"/> 図書館資料等を活用した子育て支援講座の計画的な開催(課題解決支援の一環) | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 子育て支援に関わる部署と連携して、課題解決につながる子育て支援講座の開催をH29年度から進める | 子育て支援に関わる部署の事業実施に際して、図書館蔵書リストを提供した。学習事業をH30年度に実施する。 | DV予防教育関連リスト配布(小4対象、市内6校) | (同左) |
| | | | *医療・健康づくり基礎講座 | | | <input type="checkbox"/> 図書館資料等を活用した医療・健康づくり基礎講座の計画的な開催(課題解決支援の一環) | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 医療・健康推進などに関わる部署と連携して、課題解決につながる医療・健康づくり基礎講座の開催をH29年度から進める | 医療・健康推進に関わる部署との連携手法を検討し、学習事業をH30年度に実施する。 | 大人の学校「脳を活性化して充実ライフ」「楽10体操でリフレッシュ」開催 | 大人の学校「バランス食で健康長寿」開催 |
| *自分史講座 | | | | | <input type="checkbox"/> 図書館資料等を活用した自分史講座の計画的な開催(課題解決支援の一環) | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 自分史講座実施に向けた情報を収集し、講師謝礼金等の必要経費の確保に努め、平成30年度の開催を目指す | 「ミニ自分史に挑戦しよう」講座を全3回で行った。(参加 3名) | 実績なし | 実績なし | |

【運営方針③】教育的役割を重視した取り組みを推進します

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 |
|---------------------------------|--------------------------|---|---|--|---|--|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|---|---|---|---|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | | |
| 子ども読書活動の推進（最重要施策） a. 読書習慣の育成 | 読書の楽しさを伝える児童書の充実 | 質の高い図書の新購入 | 従前の取り組みを継続 | 児童書の評価作業と評価結果に基づく資料収集の継続 | <input type="checkbox"/> 蔵書計画の児童書部分の改訂 | <input type="checkbox"/> 新たな蔵書計画に基づく資料収集 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | ・蔵書計画の児童書部分について、改訂作業を実施した。 ・多言語で書かれた児童書の購入を行った。 | ・蔵書計画の児童書部分について、改訂作業を実施した。 ・多言語で書かれた児童書の購入を行った。 | おすすめの子どもの本としてリストアップしたものを重点的に購入した。 | おすすめの子どもの本としてリストアップしたものを重点的に購入した。 |
| | | 評価が定まった図書の汚損・破損分の買い替えの推進 | 従前の取り組みを継続 | 汚損・破損冊数に対する買い替え冊数の割合 | <input type="checkbox"/> 評価が定まった図書につき、従前どおりの買い替えを実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | 図書の汚損・破損分の買い替えを行った。 (買い替え3,980冊) | 図書の汚損・破損分の買い替えを行った。 (買い替え3,980冊) | 図書の汚損・破損分の買い替え等を行った。 (買い替え6,535冊) ※除籍数の76.4%を買い替えた。 | 図書の汚損・破損分の買い替え等を行った。 (買い替え5,594冊) ※利用の多い資料については、買い足したため、買い替えが除籍数の100%を超えた。 |
| | 読書への動機付けの推進 | 年齢に応じたおすすめ図書案内パンフの作成・配布 | 従前の取り組みを継続 | 配布枚数 | <input type="checkbox"/> 年齢層ごとの図書案内パンフの作成・配布 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | ・乳児から小学生対象の「おすすめの子どもの本」リストを作成し、市内各図書館で配布した。 ・中学生・高校生向け「おすすめの本」リストを作成し、市内中学校生徒へ配布した。 | (同左) | (同左) | (同左) |
| | | おはなし会ほか各種イベントの実施 | 28年度以降継続 | イベント実施回数・参加者数 | <input type="checkbox"/> 読書への動機付けとなる子ども向け各種イベントの開催 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | 読書への動機付けとなるおはなし会や工作など、子ども向けの各種イベントを開催した。子ども読書活動推進事業…5,794人 ボランティアによるおはなし会…1,396人 | 読書への動機付けとなるおはなし会や工作など、子ども向けの各種イベントを開催した。子ども読書活動推進事業…19,017人 ボランティアによるおはなし会…1,747人 | 読書への動機付けとなるおはなし会や工作など、子ども向けの各種イベントを開催した。子ども読書活動推進事業…16,822人 ボランティアによるおはなし会…1,439人 | 読書への動機付けとなるおはなし会や工作など、子ども向けの各種イベントを開催した。子ども読書活動推進事業…24,196人 ボランティアによるおはなし会…1,273人 |
| | | 読書通帳の発行に向けた検討 | 30年度達成予定 | 検討の実施・未実施 | <input type="checkbox"/> 読書通帳導入の可能性について検討し、結論を出す | → | | | | | 読書通帳に関する各種情報収集を行った。 | 家読(うちどく)どくしょノートを作成し、ひらかた絵本まつりに合わせて配布した。 | (同左) | (同左) |
| | 乳幼児期からの読書習慣を育てる | これからお母さん・お父さんになる「プレママ」「プレパパ」対象の絵本の与え方・読み聞かせ講座の開催(マタニティスクール等への出前も検討) | 28年度以降継続 | 開催の有無及び回数・参加者数 | <input type="checkbox"/> 「プレママ」「プレパパ」対象の講座の開催(開催場所については図書館に限定しない) | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | 乳幼児向けの読み聞かせ講座開催に向けた検討を行った。 | 乳幼児向けの読み聞かせ講座を開催した。 | 実績なし | 実績なし |
| | | 保護者等対象の絵本の与え方・読み聞かせ講座の開催 | | 開催の有無及び回数・参加者数 | <input type="checkbox"/> 保護者や絵本の読み聞かせに関心のある市民向けの図書館内の講座の開催 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | ・子ども読書活動等推進ボランティア交流会を開催した。(49人参加) ・ボランティア同士の交流の場を兼ねた「ブックトークをはじめよう」を実施した。(58人参加) | ・子ども読書活動等推進ボランティア交流会を開催した。(54人参加) ・ボランティア同士の交流の場を兼ねた、えほんのひろば「小学校低学年を対象としたおはなし会の実践」を実施した。(43人参加) | 絵本の読み聞かせ講座に置き換えて、紙芝居ボランティア養成講座を実施した。(2回22人参加) | ・絵本の読み聞かせ講座に置き換えて、紙芝居ボランティア養成講座を実施した。(2回22人参加) ・定例の乳幼児向けおはなし会時に、絵本の選び方や読み聞かせなどの助言を行った。 |
| | | 赤ちゃん向けブックリスト等年齢に応じたブックリストの配布 | | 配布枚数 | <input type="checkbox"/> 乳幼児期の各年齢に応じたブックリストの作成・配布 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | 赤ちゃん向けブックリスト「あかちゃんといっしょに はじめてのえほん」を配布した。 | (同左) | (同左) | (同左) |
| | | 保育所(園)・幼稚園等における読書支援 | 29年度以降継続 | 団体貸出実施回数・冊数 | <input type="checkbox"/> 保育所(園)・幼稚園等に対する団体貸出等の読書支援の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | 平成29年度以降、支援を開始予定。 | 保育所(園)・幼稚園等の読書支援として団体登録・貸出を行った。 | (同左) | (同左) |
| | 保育士・幼稚園教諭等との相互交流の推進 | | 開催の有無及び回数・参加者数 | <input type="checkbox"/> 保育士・幼稚園教諭等との子ども読書に係る情報交換等の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | 平成29年度以降、情報交換の開始予定 | 保育士・幼稚園教諭等を含む保育所・幼稚園の図書館見学・団体貸出を行った | 保育士・幼稚園教諭等を含む保育所・幼稚園の図書館見学・団体貸出を行った際に、希望や利用状況をうかがった。 | (同左) | |
| 学齢期の読書習慣を育てる(学校図書館支援) | 全市立中学校への学校司書派遣 | 30年度達成予定 | 派遣枚数 | <input type="checkbox"/> 10校への派遣 | <input type="checkbox"/> 10校への派遣 | <input type="checkbox"/> 19校への派遣 | | | → | 平成26・27年度3校に学校司書を配置した。平成28年度には新規7校を加えて、計10校に配置した。 | 10中学校区に学校司書配置を継続した。 | 10中学校区に加えて9中学校区に学校司書を配置し、枚方市内全中学校区に学校司書配置が完了した。 | 19中学校区に学校司書配置を継続した。 | |
| | 学校図書館蔵書データ化と学校間のオンライン化支援 | 28年度以降継続 | *データ入力マニュアル等作成の有無 *データ入力済冊数 *オンライン化実施・未実施 | <input type="checkbox"/> オンライン化の実施 <input type="checkbox"/> データ入力マニュアルの作成 <input type="checkbox"/> システム運用マニュアルの作成 <input type="checkbox"/> データ入力の実施 <input type="checkbox"/> システム運用研修の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | → | ・10月～1月、4カ月間で全ての小中学校の蔵書約50万7千冊の蔵書データ登録を完了した。 ・データ入力に当たっては、「学校図書館蔵書データ入力作業マニュアル」を作成し、10月3日に操作研修を図書館臨時職員対象に実施した。 ・4月司書教諭・学校司書研修、8月中学校図書館部会、小学校図書館協議会にてシステム研修(計3回)。 ・6月学校図書館システム運用の手引きを学校に周知。3月、運用の手引きを改訂し平成30年度版を作成、周知。 | ・平成29年4月、全64小中学校で稼働した学校図書館システムの管理および技術的支援を行なった。 ・平成29年4月12日～4月27日 19中学校にて中学校・校区内小学校図書館担当教員・学校司書を対象にシステム研修を実施(計19回)。 ・4月司書教諭・学校司書研修、8月中学校図書館部会、小学校図書館協議会にてシステム研修(計3回)。 ・6月学校図書館システム運用の手引きを学校に周知。3月、運用の手引きを改訂し平成30年度版を作成、周知。 | ・学校図書館システムに関する学校からの問い合わせに対して技術的支援を行なった。 ・学校司書連絡会において学校司書を対象にシステムを活用した研修を実施した(計2回)。 ・3月、運用の手引きを改訂し平成31年度版を作成、周知した。 | ・学校図書館システムに関する学校からの問い合わせに対して技術的支援を行なった。 ・児童生徒用端末更新に係る動作確認の手順を示し、学校に確認を依頼した。 ・3月、運用の手引きを改訂し令和2年度版を作成、周知した。 | |

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 | |
|----------------------------|---|-----------------------------------|--|-----------------------------|---|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|---|--|---|--|--|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | | |
| 子ども読書活動の推進 (最重点施策) | a. 読書習慣の育成 学齢期の読書習慣を育てる (学校図書館支援) | 市立図書館コンピュータシステムとのオンライン化 | 28年度以降継続 | オンライン化実施・未実施 | <input type="checkbox"/> 市立図書館と学校図書館のコンピュータシステムのオンライン化の実施 <input type="checkbox"/> 学校図書館蔵書の利用状況分析と蔵書への反映 <input type="checkbox"/> 学校への利用状況報告及び司書教諭と連携した読書指導 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | ・学校図書館の蔵書を市立図書館のシステムとデータベース化・オンライン化させることで、市立図書館の蔵書約127万冊の検索が可能になった。 ・平成29年度よりシステムを活用して各校の蔵書冊数・貸出冊数等の統計をとることで蔵書構成や利用状況の分析について教育指導課と連携を図る予定。 ・司書教諭と連携した読書指導のあり方について、平成29年度に検討を行う | ・学校図書館と市立図書館の蔵書をデータベース化・オンライン化することで、学校図書館から市立図書館の蔵書検索が可能になり、学校司書は選書の参考や団体貸出の利用に活用した。 ・全64小中学校の蔵書統計について教育指導課と情報共有化を図った。 | ・市立図書館・学校図書館の蔵書データベースを活用して、レファレンス対応や選書の参考等を行った。 ・全64小中学校の蔵書統計について教育指導課と情報共有化を図った | (同左) |
| | | 団体貸出用図書の実装 | 30年度達成予定 | 団体貸出用図書冊数 | <input type="checkbox"/> 学齢期の子ども向け団体貸出用図書の購入 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | | | 学校への団体貸出図書配本事業として読書支援用団体貸出用図書を845冊新規購入した。合計8473冊所蔵。 | 学校への団体貸出図書配本事業として読書支援用団体貸出用図書を695冊新規購入した。合計7068冊所蔵。 | 子どもに本を届ける事業の予算などから学校への団体貸出図書配本事業用に読書支援用団体貸出用図書を675冊新規購入した。合計8013冊所蔵。 | 子どもに本を届ける事業の予算などから学校への団体貸出図書配本事業用に読書支援用団体貸出用図書を754冊新規購入した。合計8,735冊所蔵。 |
| | | 学校巡回事業の本格実施(読み物・調べ学習・朝読書支援用図書の配送) | 30年度以降継続 | 団体貸出実施回数・冊数 | <input type="checkbox"/> 学校巡回事業の本格実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | | | 平成30年度以降実施予定 | 教育総務課の学校園連絡便(別便)を活用して調べ学習用団体貸出を37件、学校へ配送した。 | 教育総務課の学校園連絡便(別便)を活用して読書支援用団体貸出を105件、学校へ配送した。 | 教育政策課の学校園連絡便(別便)を活用して読書支援用団体貸出を140件、学校へ配送した。 |
| | | ニーズを踏まえた学校図書館との連携のありかたの検討(検討事項) | | | | | | | | | 平成29年度中に、学校図書館を利用する生徒及び教員を対象としたアンケートを実施する | 市内小中学校からの学校教育支援用団体貸出の取りまとめを行い、ニーズの把握を行った。 | 市内小中学校からの学校教育支援用団体貸出の取りまとめを行い、ニーズの把握を行った。 | 学校教育支援用団体貸出の配送希望が増加したため、教育政策課の学校園連絡便の利用が困難となり、別の配送方法を検討した。 |
| | | *児童・生徒の学習活動とリンクした情報アクセス・活用手法の紹介 | | | <input type="checkbox"/> 学校司書と教員が協働した子ども向けの情報収集や情報活用方法の紹介授業の検討・実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 学校図書館の利用案内や日本十進分類法の説明等についてオリエンテーションを教員と協働して検討・実施した。 | 学校図書館の利用オリエンテーションを学校司書が学校の求めに応じて教員と協働して検討・実施した。 | 学校図書館の利用オリエンテーションを学校司書が教員と協働して実施した。 | 学校図書館の利用オリエンテーションを学校司書が教員と協働して実施した。また、タブレットを使った授業で学校司書が図書館資料や新聞記事で支援する実践例があった。 |
| | | *学校図書館による新刊案内・おすすめ図書のパンフの作成 | | | <input type="checkbox"/> 学校図書館目録の新刊案内・おすすめ図書のパンフの作成・配布 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 学校司書による新刊案内、生徒と協働しておすすめ図書だよりの作成を検討・実施した。 | 学校司書による新刊案内、生徒と協働しておすすめ図書だよりの作成を検討・実施した。 | 学校司書による新刊案内や図書だより、また、生徒と協働しての図書だより等を発行して配布・掲示した。 | 学校司書による新刊案内や図書だより、また、生徒と協働しての図書だより等を発行して配布・掲示した。 |
| | | *それぞれの子どもに合った本の紹介 | | | <input type="checkbox"/> 子どもとの積極的な会話を通じたニーズの把握とニーズと教育的な見地に基づく本の紹介 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 子どもとコミュニケーションをとって興味のある本を紹介したり質問に応えたりした。また、図書館利用傾向を把握して図書の購入に生かした。 | 学校司書はシステムを活用して児童生徒の図書館利用傾向や蔵書構成を把握し、学校図書館の購入に生かせるようになった。 | 学校司書はシステムを活用して児童生徒の図書館利用傾向や蔵書構成を把握に努めた。また、特集コーナーの設置、図書委員によるおすすめ本の紹介など、生徒の読書への興味関心を促した。 | 学校司書はシステムを活用して児童生徒の図書館利用傾向や蔵書構成を把握に努めた。また、特集コーナーの設置、図書委員によるおすすめ本の紹介など、生徒の読書への興味関心を促した。 |
| | | *小学校の学校図書館支援 | | | <input type="checkbox"/> 小学校の司書教諭への学校図書館運営に係る情報提供とアドバイス | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | ・7月～8月に学校司書配置校区9小学校の環境整備に10人の学校司書が学校図書館支援グループと連携を取って取り組んだ。 ・蔵書データ入力期間の12月～1月に、データ入力終了後、学校司書配置校区小学校の分類ラベルの貼り替えに着手した。 | ・7月～8月に学校司書の配置7校区小学校(15校)で学校図書館のレイアウト変更を学校司書・教職員との協働で実施した。 ・学校司書は校区内小学校の求めに応じて授業支援、図書利用オリエンテーション、寄贈図書の入力作業、環境整備作業等を実施した。 | ・学校司書の配置9校区の小学校(15校)で学校図書館のレイアウト変更を学校司書・教職員との協働で実施した。 ・学校司書は校区内小学校の求めに応じて授業支援、図書利用オリエンテーション、寄贈図書の入力作業、環境整備作業等を実施した。 | ・10小学校の学校図書館のレイアウト変更を学校司書・教職員との協働で実施した。 ・平成26年度より進めてきた学校図書館の環境整備が全64校で完了した。 |
| *教員の授業づくりの支援 | | | <input type="checkbox"/> 学習指導要領を踏まえた学校司書による教員の授業づくりの支援 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 教諭の依頼を受けて、学校図書館資料を提供したり、市立図書館の調べ学習用団体貸出を利用して資料を提供したりした。授業で学校図書館を使ってもらえるよう、教諭とのコミュニケーションに努めた。 | 学校司書は教員の資料相談・レファレンスを受けて、学校図書館や市立図書館の調べ学習用団体貸出を利用して資料を提供した。また、授業での学校図書館活用に向けて、教諭とのコミュニケーションに努めた。 | 学校司書が受けた教員からの資料相談・レファレンス・授業支援件数：582件(19中学校合計) 市立図書館 学校教育支援用団体貸出受付件数：307件(小中学校合計) | 学校司書が受けた教員からの資料相談・レファレンス・授業支援件数：561件(19中学校合計) 市立図書館 学校教育支援用団体貸出受付件数：387件(小中学校合計) | | |
| *学校図書館の開館時間帯・開館日数の拡大可能性の検討 | | | <input type="checkbox"/> 学校図書館の開館時間帯・開館日数の拡大可能性の検討 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | | 放課後開館の実施は2中学校。懇談期間中等の特別開館は10中学校が実施した。 | 放課後開館の実施は6校(試行含む)。懇談期間中等の特別開館は10中学校が実施した。 | 放課後開館の実施校：9中学校 特別開館の実施校：19中学校 | 放課後開館の実施校：10中学校 特別開館の実施校：17中学校 | | |

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 | | | | |
|-------------------------|--|---------------------------------|-------------------------------------|------------|----------------------|---------------------------------------|------|--|------|------------------|------------------|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | | | | | |
| 子ども読書活動の推進 | b. 情報活用能力の育成 | 図書館における情報活用能力育成 | 子ども向け図書館活用講座の開催 | 30年度以降継続 | 開催の有無及び回数・参加者数 | | | □子ども向け図書館活用講座の開催 | □同左 | □同左 |> | 「子ども司書連続講座 めざせ ジュニアライブラリアン」を開催した。(4回 参加者36人) | 「子ども司書連続講座 めざせ ジュニアライブラリアン」を開催した。(4回 参加者36人) | 「子ども司書連続講座 めざせ ジュニアライブラリアン」を開催した。(3回 参加者27人) | 「子ども司書連続講座 めざせ ジュニアライブラリアン」を開催した。(3回 参加者18人) | | |
| | | 学校における情報活用能力育成支援 | 図書館を活用した教員の授業作り支援 | 30年度以降継続 | 資料提供回数・冊数 | | | □学校図書館を活用した授業づくりを学校司書が支援 | □同左 | □同左 |> | 平成30年度以降支援開始予定。 | 平成30年度以降支援開始予定。 | 学校図書館を活用した授業時間数：1221時間(19中学校合計) | 学校図書館を活用した授業時間数：1,178時間(19中学校合計) | | |
| | | 学校と連携した情報活用能力育成 | 調べ学習コンクールなど学校教育部との共催による各種連携事業の推進 | 従前の取り組みを継続 | 開催の有無及び回数・参加者数 | | | □調べ学習コンクール・朗読大会ほか、学校教育部との共催事業の実施 | □同左 | □同左 | □同左 | □同左 |> | ・「第5回中学生の調べ学習コンクール」11/19-12/18実施、出展：中学生165人 ・「第4回ここをつたえよう！朗読大会」1/22実施、小中学生28人出場 | ・「第6回中学生の調べ学習コンクール」11/18-12/17実施、出展：中学生202人 ・「第5回ここをつたえよう！朗読大会」1/21実施、小中学生30人出場 | ・「第7回中学生の調べ学習コンクール」11/17-12/16実施、出展：中学生158人 ・「第6回ここをつたえよう！ひらかた朗読大会」1/20実施、小中学生29人出場 ・「第4回中学生のビブリオバトル」3/17実施、参加126人 | ・「第8回中学生の調べ学習コンクール」11/16～12/15実施、出展：中学生215人 ・「第7回ここをつたえよう！ひらかた朗読大会」1/19実施、小中学生33人出場 ・「第5回中学生のビブリオバトル」3/15中止 |
| d. 社会で生きていくための知識・技術等の育成 | c. 推進計画策定 | 第3次子ども読書活動推進計画の策定 | 第3次グランドビジョンを踏まえた第3次子ども読書活動推進計画の策定 | 28年度達成予定 | 計画の策定・未策定 | | | 推進計画策定 | | | |> | 第3次子ども読書活動推進計画を策定した。 | 第3次子ども読書活動推進計画を策定し、それに基づく読書推進を行った。 | (同左) | (同左) | |
| | | 成人の読書習慣の維持・向上 | 地域の福祉委員・民生委員等を介した地域の高齢者への図書館利用の働きかけ | 28年度以降継続 | 地域の福祉委員・民生委員等への依頼の有無 | | | □福祉委員・民生委員等に対する高齢者の図書館利用のメリットの説明 □福祉委員・民生委員等による高齢者に対する図書館利用の働きかけの依頼 | □同左 | □同左 | □同左 | □同左 |> | 平成29年度に地域自治会等への利用案内の配布など高齢者への図書館利用の働きかけを検討する。 | 実績なし | 実績なし | 実績なし |
| | | 電子書籍を用いた拡大文字による高齢者の読書の推進の可能性の検討 | 電子書籍を用いた拡大文字による高齢者の読書の推進の可能性の検討 | 30年度以降継続 | 検討の実施・未実施 | | | □タブレット端末と電子書籍を活用した高齢者の読書推進の可能性の調査・研究 | | | | |> | 平成30年度以降調査・研究の開始予定。 | 電子書籍については、調査・研究を行った。(大活字資料の購入は継続中) | (同左) | (同左) |
| 他部署との連携による教育・生涯学習の推進 | 社会教育課主催事業との連携等、他部署で実施される教育・生涯学習関連事業との連携の推進 | 29年度以降継続 | 連携事業・支援等実施の有無・回数・参加者数 | | | □他部署との連携に係るガイドラインの設定 □他部署との連携事業の実施 | □同左 | □同左 | □同左 | |> | ・社会教育課主催事業の参加者へ参考資料リストを配布した ・連携に係るガイドラインは平成29年に設定予定 | 社会教育課主催事業の参加者へ参考資料リストを配布した。 | 社会教育課主催事業の参加者へ参考資料リストを配布した。(思春期のいじめ、発達障がい、認知症) | 社会教育課主催事業の参加者へ参考資料リストを配布した。(終活) | | |

【運営方針④】魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 |
|---------------------------|----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|--|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | |
| a. 各図書館 施設の役割分 担と連携 | 中央図書館 | 各種サービス（児童・障害者サービス、学校図書館支援等）のセンター機能を果たす | 28年度以降継続 | 各サービス種別単位の 全館のマネジメント体制の確立・未確立 | <input type="checkbox"/> 市立図書館のサービス種別単位の明確化 <input type="checkbox"/> サービス種別単位ごとのマネジメント体制の確立 <input type="checkbox"/> サービス種別単位ごとのサービス方針の策定 <input type="checkbox"/> サービス方針の全館共有化 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <p>（児童サービス） 第2次次方市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児から中高生までの読書活動を全館で推進した。 子ども読書活動推進事業として、子ども読書週間期間に全館で「ひらかた絵本まつり」を開催した。</p> <p>（障害者サービス） 障害者サービス全般に関する事業の企画及び調整、点字及び録音資料等の相互協力窓口、障害者サービス用資料の自館製作に関わる図書館協力者（音訳など）に対する研修等の機能を担った。</p> <p>（学校図書館支援） 学校への団体貸出図書配本事業として小学校29校に1校210冊を学期ごとに団体貸出して搬送した。 子どもに本を届ける事業として小学校45校に1校50冊を学期ごと（2学期・3学期）に団体貸出して届けた。 調べ学習用団体貸出の依頼件数は、小中学校128件で、5,375冊貸出した。うち、学校園連絡便（別便）を活用して37件、学校へ配達した。申込40件</p> | <p>（児童サービス） 第3次次方市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児から中高生までの読書活動を全館で推進した。 子ども読書活動推進事業として、子ども読書週間期間に全館で「ひらかた絵本まつり」を取り組んだ。</p> <p>（障害者サービス） 障害者サービス全般に関する事業の企画及び調整、点字・録音資料等の相互協力窓口業務、全館の対面読書の日程調整を行なった。また、障害者サービス用資料の自館製作に関わる図書館協力者（音訳）の養成講座を行った。13人参加。 また、各分館の担当者及び分室職員を対象に「障害者サービス基本研修会」を実施し、障害者サービスに関する基本的な情報の共有化と事務手続きの確認を行った。 対面読書実利用者・実施回数 全館 16名357回（うち、中央のみ6名96回） 録音図書個人貸出タイトル数 中央 4484タイトル（うち、相貸による提供4219タイトル）</p> <p>（学校図書館支援） 学校への団体貸出図書配本事業として小学校30校に1校210冊を学期ごとに団体貸出して搬送した。 子どもに本を届ける事業として小学校45校に1校50冊を学期ごと（2学期・3学期）に団体貸出して届けたが、団体貸出という形態を見直した。当該貸出に使用していた本は除籍し、小学校の学校図書館蔵書として届けた。また、平成30年度の子どもに本を届ける事業の予算で小学校45校に各50冊程度の本を購入し、学校図書館蔵書として届けた。 調べ学習用団体貸出の名称を変更し、学校教育支援用団体貸出とした。依頼件数は、小中学校307件で、10,559冊貸出した。うち、学校園連絡便（別便）を活用して105件、学校へ配達した。また、資料充実のため、子どもに本を届ける事業の予算で百科事典を3セット36冊を中央図書館所蔵として購入し、貸出を行うこととした。 子どもに本を届ける事業の予算で自動車庫として、ファミリーポート・すこやか広場巡回用の児童書を244冊購入した。</p> | <p>（児童サービス） 第3次次方市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児から中高生までの読書活動を全館で推進した。 子ども読書活動推進事業として、子ども読書週間期間に全館で「ひらかた絵本まつり」を取り組んだ。</p> <p>（障害者サービス） 障害者サービス全般に関する事業の企画及び調整、点字・録音資料等の相互協力窓口業務、全館の対面読書の日程調整を行なった。また、障害者サービス用資料の自館製作に関わる図書館協力者（音訳）の養成講座を行った。13人参加。 また、各分館の担当者及び分室職員を対象に「障害者サービス基本研修会」を実施し、障害者サービスに関する基本的な情報の共有化と事務手続きの確認を行った。 対面読書実利用者・実施回数 全館 16名357回（うち、中央のみ6名96回） 録音図書個人貸出タイトル数 中央 4484タイトル（うち、相貸による提供4219タイトル）</p> <p>（学校図書館支援） 学校への団体貸出図書配本事業として小学校30校に1校210冊を学期ごとに団体貸出して搬送した。 子どもに本を届ける事業として小学校45校に1校50冊を学期ごと（2学期・3学期）に団体貸出して届けたが、団体貸出という形態を見直した。当該貸出に使用していた本は除籍し、小学校の学校図書館蔵書として届けた。また、平成30年度の子どもに本を届ける事業の予算で小学校45校に各50冊程度の本を購入し、学校図書館蔵書として届けた。 調べ学習用団体貸出の名称を変更し、学校教育支援用団体貸出とした。依頼件数は、小中学校307件で、10,559冊貸出した。うち、学校園連絡便（別便）を活用して105件、学校へ配達した。また、資料充実のため、子どもに本を届ける事業の予算で百科事典を3セット36冊を中央図書館所蔵として購入し、貸出を行うこととした。 子どもに本を届ける事業の予算で自動車庫として、ファミリーポート・すこやか広場巡回用の児童書を244冊購入した。</p> | <p>（児童サービス） 第3次次方市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児から中高生までの読書活動を全館で推進した。 子ども読書活動推進事業として、子ども読書週間期間に全館で「ひらかた絵本まつり」を取り組んだ。</p> <p>（障害者サービス） 障害者サービス全般に関する事業の企画及び調整、点字・録音資料等の相互協力窓口業務、全館の対面読書の日程調整を行なった。また、障害者サービス用資料の自館製作に関わる図書館協力者（音訳）の養成講座を行った。13人参加。 また、各分館の担当者及び分室職員を対象に「障害者サービス基本研修会」を実施し、障害者サービスに関する基本的な情報の共有化を行うとともに、分館の担当者を対象に「障害者サービス担当者会議」を行い、事務手続きの確認を行った。</p> |
| | | 市民ニーズの把握と図書館サービスノウハウの蓄積 | 28年度以降継続 | 市職員による窓口サービスの維持 | <input type="checkbox"/> 専門的なサービス提供及び図書館政策の企画・立案能力の維持・育成のためのサービスノウハウの蓄積及び市民ニーズの把握 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <p>中央図書館及び窪田・牧野を除く分館において市職員による窓口サービスを実施した。 窓口アンケート、スマホアンケート等を実施し、市民ニーズの把握に努めた。</p> | <p>窓口アンケート、スマホアンケート等を実施し、市民ニーズの把握に努めた。</p> | <p>窓口アンケート、スマホアンケート等を実施し、市民ニーズの把握に努めた。</p> | <p>窓口アンケート、スマホアンケート等を実施し、市民ニーズの把握に努めた。</p> |
| | | 図書館政策の企画・立案 | 28年度以降継続 | 図書館政策の企画・立案担当者（または部署）の設置・未設置 | <input checked="" type="checkbox"/> 図書館政策の企画立案体制の構築 | <input type="checkbox"/> 左記体制を維持 <input type="checkbox"/> 左記体制を維持 <input type="checkbox"/> 左記体制を維持 <input type="checkbox"/> 左記体制を維持 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <p>館内委員会制度等を整理し、図書館政策の企画・立案体制を構築した。</p> | <p>館内委員会制度等を整理し、図書館政策の企画・立案体制を構築した。</p> | <p>館内委員会制度等を整理し、図書館政策の企画・立案体制を構築した。</p> | <p>館内委員会制度等を整理し、図書館政策の企画・立案体制を構築した。</p> |
| | | 指定管理者制度導入後の分館の運営状況のチェック | 28年度以降継続 | 指定管理者に対する指摘事項の改善率 | <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者の評価基準及び評価手法の確立 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリングの実施 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的な連絡調整会議の開催 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <p>評価基準となるモニタリングシートを作成し、モニタリングを実施した。 また、毎月開催する分館長会議において、定期的な連絡調整を行った。</p> | <p>評価基準となるモニタリングシートを作成し、モニタリングを実施した。 毎月開催する分館長会議において、定期的な連絡調整を行った。</p> | <p>評価基準となるモニタリングシートを作成し、モニタリングを実施した。 毎月開催する分館長会議において、定期的な連絡調整を行った。</p> | <p>評価基準となるモニタリングシートを作成し、モニタリングを実施した。 毎月開催する分館長会議において、定期的な連絡調整を行った。</p> |
| | | 選書の拠点機能を果たす | 28年度以降継続 | 中央図書館を核とした選書方法の確立・未確立 | <input type="checkbox"/> 蔵書計画の改訂 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入を前提とした中央図書館を核とした選書システムの確立 | <input type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施 <input type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施 <input type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施 <input type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <p>蔵書計画の改訂作業を行ったほか、指定管理者制度導入に係る中央図書館を核とした選書システムを確立した。</p> | <p>蔵書計画の改訂を行うとともに、指定管理者制度導入に係る中央図書館を核とした選書システムを検討した。</p> | <p>蔵書計画に基づいた選書・資料収集を行い、指定管理者制度を前提とした選書方法を確立し円滑に実施した。</p> | <p>蔵書計画に基づいた選書・資料収集を行い、指定管理者制度を前提とした選書方法を確立し円滑に実施した。</p> |
| 車塚地域の分館機能を果たす | 28年度以降継続 | 基礎的な図書館サービスの提供 | <input type="checkbox"/> 貸出・予約・レファレンス・児童サービス・障害者サービス等従来提供しているサービスの実施 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <p>貸出・予約・レファレンス・児童サービス・障害者サービス等従来提供している基礎的な図書館サービスを提供した。 *延べ貸出者数約24万人（中央図書館） *延べ来館者数約50万人（中央図書館）</p> | <p>貸出・予約・レファレンス・児童サービス・障害者サービス等従来提供している基礎的な図書館サービスを提供した。 *延べ貸出者数約28万人（中央図書館） *延べ来館者数約49万人（中央図書館）</p> | <p>貸出・予約・レファレンス・児童サービス・障害者サービス等従来提供している基礎的な図書館サービスを提供した。 *延べ貸出者数約30万人（中央図書館） *延べ来館者数約48万人（中央図書館）</p> | <p>貸出・予約・レファレンス・児童サービス・障害者サービス等従来提供している基礎的な図書館サービスを提供した。 *延べ貸出者数約30万人（中央図書館） *延べ来館者数約44万人（中央図書館）</p> | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------------------------|----------------|------------|---|--|-----|-----|-----|-----|---|--|---|--|
| | | 蓄積した専門的なノウハウを活かしたサービス提供を行う | 専門的な図書館サービスの提供 | 従前の取り組みを継続 | 満足度調査（図書館政策企画立案・選書・高度なレファレンス・各種イベント企画実施等）の非定型業務 | □選書・高度なレファレンス・各種イベント企画実施・図書館政策の企画立案等専門的な知識・経験の蓄積が求められるサービス等の実施 | □同左 | □同左 | □同左 | □同左 | <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス・児童サービス・障害者サービス等の専門的なサービス提供や各種子ども向け行事の実施、第3次枚方市子ども読書活動推進計画の策定など、市立図書館が有する専門的なノウハウを活用したサービス等を実施した。 ・選書・レファレンス等専門的なサービスに関する満足度調査結果は、満足と回答した利用者の割合は45.8%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は6.9%であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス・児童サービス・障害者サービス等の専門的なサービス提供や各種子ども向け行事の実施、第3次枚方市子ども読書活動推進計画の策定など、市立図書館が有する専門的なノウハウを活用したサービス等を実施した。 ・選書・レファレンス等専門的なサービスに関する満足度調査結果は、満足、概ね満足と回答した利用者の割合は36.4%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は4.1%であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス・児童サービス・障害者サービス等の専門的なサービス提供や各種子ども向け行事の実施、第3次枚方市子ども読書活動推進計画の策定など、市立図書館が有する専門的なノウハウを活用したサービス等を実施した。 ・選書・レファレンス等専門的なサービスに関する満足度調査結果は、満足、概ね満足と回答した利用者の割合は71.2%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は10.7%であった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービス・児童サービス・障害者サービス等の専門的なサービス提供や各種子ども向け行事の実施、第3次枚方市子ども読書活動推進計画の策定など、市立図書館が有する専門的なノウハウを活用したサービス等を実施した。 ・選書・レファレンス等専門的なサービスに関する満足度調査結果は、満足、概ね満足と回答した利用者の割合は76%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は9.4%であった。 |
|--|--|----------------------------|----------------|------------|---|--|-----|-----|-----|-----|---|--|---|--|

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 | |
|---------------------------|---|----------------------------------|---|--|--|--|---|--------------------------------|-------------------------------------|---|---|---|--|--|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | | |
| a. 各図書館 施設の役割分 担と連携 | 分館 | 基礎的なサービス提供 | 貸出・予約・児童サービス・障害者サービス・レファレンス等の基礎的な図書館サービスの提供 | 従前の取り組みを継続 | * 定型業務を中心とした統計数値 * 延べ貸出者数/年 * 延べ来館者数/年 | <input type="checkbox"/> 貸出・予約・レファレンス・児童サービス・障害者サービス等従来提供しているサービスの実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 普通使いの図書館として提供すべき基礎的な図書館サービスを提供した。 * 延べ貸出者数約70万人(分館) * 延べ来館者数約127万人(分館) | 普通使いの図書館として提供すべき基礎的な図書館サービスを提供した。 * 延べ貸出者数約79万人(分館) * 延べ来館者数約124万人(分館) | 普通使いの図書館として提供すべき基礎的な図書館サービスを提供した。 * 延べ貸出者数約82万人(分館) * 延べ来館者数約134万人(分館) | 普通使いの図書館として提供すべき基礎的な図書館サービスを提供した。 * 延べ貸出者数約88万人(分館) * 延べ来館者数約128万人(分館) |
| | | 複数の分室での午前開室の推進 | 従前の取り組みを継続 | 午前開室分室数の推移 | <input type="checkbox"/> 費用対効果の観点を踏まえ、午前開室の効果が期待できる分室の午前開室の実施 | | | | | 藤原分室の午前開室を前年度より引き続いて試行実施したが、効果が薄いと判断して9月末までとした。 新たに、京阪宮之阪駅高架下の条件から、通勤通学者の利用を見込んで宮之阪分室の平日午後6時30分までと土曜日の午前10時30分開室試行を実施した。 | 宮之阪分室において、平日午後6時30分までと土曜日の午前10時30分開室の試行を継続して実施した。 | (同左) | (同左) | |
| | 分室 | 地域住民の居場所としての機能の強化 | 基礎的な図書館サービスの提供 | 従前の取り組みを継続 | 定型業務を中心とした統計数値 | <input type="checkbox"/> 貸出・予約・レファレンス・児童サービス・障害者サービス等従来提供しているサービスの実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 貸出・予約・レファレンス・児童サービス・障害者サービス等従来提供している基礎的な図書館サービスを提供した。 | (同左) | (同左) | (同左) |
| | | 親子連れ・高齢者向け事業の積極的な開催 | 従前の取り組みを継続 | イベント実施回数・参加者数 | <input type="checkbox"/> 事業の開催 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 11分室において、さまざまなイベント等を実施した。(おはなし会・工作等合計 1,227回 参加のべ人数5,701人 成人読書会・手話の会等114回 参加のべ人数547人) | 11分室において、さまざまなイベント等を実施した。(おはなし会・工作等合計 851回 参加のべ人数4,815人 成人読書会・手話の会等109回 参加のべ人数516人) | 11分室において、さまざまなイベント等を実施した。(おはなし会・工作等合計 851回 参加のべ人数4,815人 成人読書会・手話の会等121回 参加のべ人数487人) | 11分室において、さまざまなイベント等を実施した。(おはなし会・工作等参加のべ人数4,195人 成人読書会・手話の会等参加のべ人数425人) | |
| | | 分室のあり方等に係る見直し計画の策定 | 30年度達成予定 | 計画策定の有無 | <input type="checkbox"/> 計画策定に向けた情報収集 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> (仮称) 分室のあり方等に係る見直し計画策定 | | | 見直し計画の方向性を決める考え(案)を作成し、市民アンケートを行って意見を集めた。 | 平成29年5月に「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方」をまとめた。 | (同左) | 令和2年3月「枚方市立香里ヶ丘図書館周辺3分室に係る見直し計画」策定 | |
| b. 効果的・ 効率的な図書館 運営 | 生涯学習施設 と図書館の 一体的な運営 | 蹠陀・牧野の複合施設への制度導入 | 28年度達成予定 | 制度導入の実施・未実施 | <input checked="" type="checkbox"/> 制度導入(蹠陀・牧野) | | | | | 平成28年4月に蹠陀・牧野図書館に指定管理者制度を導入した。 | 平成28年4月に蹠陀・牧野図書館に指定管理者制度を導入した。 | 蹠陀・牧野を含む複合施設6施設への指定管理者制度の導入した。 | (左記継続) | |
| | | 蹠陀・牧野を含む複合施設6施設への制度導入 | 30年度達成予定 | 制度導入の実施・未実施 | <input type="checkbox"/> 制度導入(蹠陀・牧野・楠葉・菅原・御殿山・津田) | | | | | 平成30年度以降導入予定。 | 蹠陀・牧野を含む複合施設6施設への指定管理者制度の導入に向けた手続きと事業者の選定を行った。 | 蹠陀・牧野を含む複合施設6施設への指定管理者制度の導入した。 | 蹠陀・牧野を含む複合施設6施設への指定管理者制度の導入の継続 ・香里ヶ丘図書館への指定管理者制度導入に向けた手続きと事業者の選定を行った。 | |
| | | 民間ノウハウを活かしたサービス向上 | 28年度以降継続 | 満足度調査 | ■さまざまなイベントの開催 <input type="checkbox"/> 直営館とのジョイントイベントの開催 ■生涯学習市民センターとのコラボ事業の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | ・地域歴史講座など、さまざまなイベントを実施した。 ・センター実施事業の関連図書展示するなど、センターとコラボした事業を実施した。 | (同左) | (同左) | (同左) |
| | 生涯学習施設 と図書館の 複合施設への 指定管理者 制度の導入 | 子ども読書活動の推進 | | 学校司書派遣校数 | <input type="checkbox"/> 10校への学校司書派遣 <input type="checkbox"/> 10校への学校司書派遣 <input type="checkbox"/> 19校への学校司書派遣 <input type="checkbox"/> 19校への学校司書派遣 <input type="checkbox"/> 19校への学校司書派遣 | | | | | | 平成26・27年度3校に学校司書を配置した。平成28年度には新規7校を加えて、計10校に配置した。 | 学校司書配置中学校10校を継続した。 | 10中学校区に加えて9中学校区に学校司書を配置し、枚方市内全中学校区に学校司書配置が完了した。 | 19中学校区に学校司書配置を継続した。 |
| | | 制度導入により生み出した資源(人材・物・予算)によるサービス向上 | 開館時間帯の延長・開館日数の増加 | 28年度以降継続 | * 時間帯・日数の増加の実施・未実施 * 増加分及び全体の利用状況 | ■指定管理館での開館時間帯の延長・開館日数の増加 ■日数・時間帯の増加・延長に伴う利用状況調査の実施 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 中央図書館における開館日数の増加、開館時間帯の拡大の可能性の検討 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | ・指定管理館において、開館時間帯・開館日数の拡大を行い、開館時間が従来の約1.5倍となった。 ・利用状況調査を行い、直営館が減少している中、入館者数・貸出冊数ともに増加したことが判明した。 * 蹠陀は来館者数が平成27年度から24.7%、貸出が9.1%増加した * 牧野は来館者数が平成27年度から29.8%、貸出が7.5%増加した | ・指定管理館において、開館時間帯・開館日数の拡大を行い、開館時間が従来の約1.5倍となった。 ・利用状況調査を行い、入館者数・貸出冊数ともに増加した。 | (同左) | (同左) |
| | 中央図書館の司令塔機能の強化 | 司令塔機能を果たすにふさわしい管理運営体制の構築の有無 | 司令塔機能を果たすにふさわしい管理運営体制の構築の有無 | ■各サービス種別等を踏まえたグループ編成など、司令塔機能を果たすにふさわしい管理運営体制の構築 ■全館一体となったサービス提供に必要なサービス種別等を踏まえたグループ編成 <input type="checkbox"/> 各グループをより有効に機能させるために必要な管理運営体制の検討 | <input type="checkbox"/> 各グループをより有効に機能させるために必要な管理運営体制の検討 | <input type="checkbox"/> 検討結果を踏まえた管理運営体制の構築に向けた取り組み | <input type="checkbox"/> 左記の継続 | <input type="checkbox"/> 左記の継続 | 学校司書配置校の増加に伴い、学校図書館支援グループの体制整備を行った。 | 学校司書配置校の増加に伴い、学校図書館支援グループの体制整備を行った。 | 学校司書配置校の増加に伴い、学校図書館支援グループの体制整備を行った。 | 学校司書配置校の増加に伴い、学校図書館支援グループの体制整備を行った。 | 学校司書配置校の増加に伴い、学校図書館支援グループの体制整備を行った。 | |

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 |
|-----------------------|------------------------------|--|------------------|---|---|-----------------------------|-----------------------------|--|--|--|---|--|---|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | |
| c. 施設の老朽化対策と施設配置等の見直し | 自動車文庫のあり方の再構築 | 自動車文庫の活用方法の再構築 | 28年度以降継続 | 自動車文庫の活用計画の策定の有無 | <input type="checkbox"/> 全域サービスにおける施設サービスの補完的役割の継続 <input type="checkbox"/> 自動車文庫の機動力を活かした新たな枚方版アウトリーチサービス | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> (仮称) 自動車文庫活用計画の策定 | <input type="checkbox"/> (仮称) 自動車文庫活用計画に基づく運営 | 従来のサービスを提供するとともに、分室等の見直しに関する基本的な考え方(案)の中で、自動車文庫の方向についても示し、市民アンケートを実施した。 | 「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方」の中で、子育て拠点や病院施設などへのアウトリーチサービスの実施の方向性を明らかにした。 | 香里ヶ丘図書館建替えに伴う休館のため、香里ヶ丘中央公園での代替巡回を開始した。 | 香里ヶ丘図書館建替えに伴う休館のため、香里ヶ丘中央公園での代替巡回を行った。 |
| | | ステーション配置の見直し | | ステーション配置の見直しの有無 | <input type="checkbox"/> 各ステーションの利用状況調査及びその経年比較 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> (仮称) 自動車文庫活用計画を踏まえたステーション配置の見直し | ・学校図書館の整備・充実に伴い、一般利用の少ない小学校内ステーションを平成28年度末に廃止した。 ・1日平均貸出人数が一桁のステーションについて時間、曜日等検討し、今後も見直しを行う。 ・西長尾小学校、山之上小学校、桜丘北小学校ステーションを廃止した。 | ・「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方」の中で、利用の少ないステーションや路上ステーションの見直しの方向性を明らかにした。 ・大峰ステーション、東池之宮ステーションを廃止し、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん、枚方公済病院への巡回を開始した。 | ・「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方」をもとに見直しの検討を行ったが、問題は現状を継続した。 | (左記継続) |
| | 交通アクセス改善の可能性の検討 | 費用対効果・実現可能性等を踏まえた交通アクセス改善につながる方策の調査研究 | 従前の取り組みを継続 | 調査研究の実施・未実施 | <input checked="" type="checkbox"/> 調査研究の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 費用がかかることから、今後慎重に調査研究を進める | (同左) | (同左) | (同左) |
| d. 職員の知識・技術・能力の育成・継承 | 核となる専門的スタッフの計画的な育成 | 求められる職員像の設定 | 28年度達成予定 | 図書館職員育成計画の策定の有無 | <input type="checkbox"/> (仮称) 図書館職員育成計画の策定 | | | | | 「枚方市立図書館人材育成計画」策定に向けて検討を進めた。 | (同左) | (同左) | (同左) |
| | | 専門的な知識・技術を持ったスタッフの計画的な育成(図書館内部での研修実施・外部研修への職員派遣) | | | | | | | | 以下の取り組みを行った。 | 以下の取り組みを行った。 | ・大阪府図書館司書セミナーへの参加(延べ30人) ・大阪府図書館司書セミナー(基本編)への参加(延べ17人) | ・大阪府図書館司書セミナーへの参加(延べ21名) ・図書館地区別研修(近畿地区)への参加(4名) |
| | | *レファレンス・IT関連の研修 | | | <input type="checkbox"/> 育成計画に基づくレファレンス・IT関連の研修の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 国会デジタルコレクションの操作研修を実施した。(国会図書館職員による研修1回、30人参加) | 大阪関係の資料に関する情報検索について研修を実施した(講師：大阪府立図書館職員、30人参加) | ・児童サービスに関するレファレンスについて研修を実施した(講師：大阪府立図書館職員、55人参加) ・参考業務実務研修参加(OLA主催 参加1) | ・枚方の歴史について研修を実施した。対象：中央・分室職員(講師：市史資料室職員) ・参考業務実務研修参加(OLA主催 参加2) |
| | | *選書技術関連の研修 | | | <input type="checkbox"/> 育成計画に基づく選書技術関連の研修の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 蔵書や利用状況など、選書に関連するデータを共有化するとともに、選書会議やリクエスト検討会議などを通じ、選書に係る知識の向上を図った。 | (同左) | (同左) | (同左) |
| | | *子ども読書活動関連の研修 | | | <input type="checkbox"/> 育成計画に基づく子ども読書活動関連の研修の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 児童書の書評作成や読み聞かせ講座など読書活動関連の研修を実施した。(3回 67人参加) | 児童書の書評作成や読み聞かせ講座など読書活動関連の研修を実施した。(4回 67人参加) | 児童書の書評作成や読み聞かせの研修を行った。(4回 119人参加) 府立レファレンス研修 55人 府立レファレンス研修 2人 分室研修(読み聞かせ/正置友子) 38人 Y Aリスト書評 35人 紙芝居講座 6人 OLA児童サービス基本研修(参加3) OLA児童サービス実務研修(参加1) | 児童書の書評作成や読み聞かせの研修を行った。(4回 119人参加) 府立レファレンス研修 55人 府立レファレンス研修 2人 分室研修(子どもの本の選書/土居安子) 43人 Y Aリスト書評 38人 OLA児童サービス基本研修(参加2) OLA児童サービス実務研修(参加2) |
| | | *行政職員としての知識・技術関連の研修 | | | <input type="checkbox"/> 育成計画に基づく行政職員としての知識・技術関連の研修の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 左記具体的な取り組みの観点も踏まえた「枚方市立図書館人材育成計画」策定に向けて検討を進めた。 | (同左) | (同左) | (同左) |
| | *図書館政策の企画・立案関連の研修 | | | <input type="checkbox"/> 育成計画に基づく図書館政策の企画・立案関連の研修の実施 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 左記具体的な取り組みの観点も踏まえた「枚方市立図書館人材育成計画」策定に向けて検討を進めた。 | 左記具体的な取り組みの観点も踏まえた「枚方市立図書館人材育成計画」策定に向けて検討を進めた。 | 今後の図書館政策を企画するための情報収集のため、先進都市派遣研修やビジネスライブラリアン研修などの参加を行った。 | 今後の図書館政策を企画するための情報収集のため、先進都市派遣研修やビジネスライブラリアン研修などの参加を行った。 | |
| 専門的スタッフの計画的な配置 | 現在まで蓄積した知識・技術の継承と向上が可能な体制の構築 | 28年度以降継続 | 専門的スタッフの司書率 | <input type="checkbox"/> 計画的な専門職員の育成と配置 | | | | | 左記具体的な取り組みの観点も踏まえた「枚方市立図書館人材育成計画」策定に向けて検討を進めた。 | 左記具体的な取り組みの観点も踏まえた「枚方市立図書館人材育成計画」策定に向けて検討を進めた。 | ジョブローテーションにより、正職員、再任用職員、任期付職員を含めた知識・技術の継承と向上を図った。 | ジョブローテーションにより、正職員、再任用職員、任期付職員を含めた知識・技術の継承と向上を図った。 | |
| 定型業務のマニュアル化の推進 | 図書館サービス業務のマニュアル化 | 従前の取り組みを継続 | マニュアル作成・改訂数 | <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入を前提とした各種既存マニュアルの整備 <input type="checkbox"/> 未整備のマニュアルの作成 | <input type="checkbox"/> 既存マニュアルの必要な改訂 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 指定管理者制度導入を前提とした各種既存マニュアルの見直しに向けた準備を行った。 | 図書館サービス業務マニュアルに基づき業務を実施 | (同左) | (同左) |
| | 図書館管理業務のマニュアル化 | 28年度以降継続 | マニュアル作成・改訂数 | <input type="checkbox"/> 庶務・総務業務中の定型業務のマニュアル化 | <input type="checkbox"/> 未整備のマニュアルの作成 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | 図書館管理業務中の定型業務に係るマニュアルの整備、改訂を行った | マニュアルに基づいて業務を実施 | (同左) | (同左) |

| 取り組みの方向 | 施策 | 具体的な取り組み | 今後の予定 (数値は平成) | 評価指標 | 目標とする到達点 | | | | | 平成28年度末の 進捗状況 | 平成29年度末の 進捗状況 | 平成30年度末の 進捗状況 | 平成31・令和元年度末の 進捗状況 |
|----------------|---|----------|------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | 平成28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 32年度 | | | | |
| 積極的な図書館サービスの周知 | 積極的なサービスの周知による発信力の向上 (参考事例) | | | | | | | | | | | | |
| | * 図書館ホームページの存在の周知 | | | <input type="checkbox"/> ホームページ周知計画の作成 <input type="checkbox"/> 見やすくわかりやすい、見たくなるホームページの構築 | <input type="checkbox"/> 計画に基づく周知の実施 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 | <p>・見やすくなるよう、項目を整理した ・H29年4月のリニューアルに向けて移行する項目について検討した。</p> | <p>・イベントの案内、イベント実施の様子などをホームページにアップした。 ・お知らせの内容によっては枚方市ツイッターやフェイスブックにも掲載した。</p> | (同左) | (同左) |
| | * 図書館活用方法に係る案内動画の配信 | | | <input type="checkbox"/> 動画の企画書の作成 | <input type="checkbox"/> 企画書に基づく動画の作成 <input type="checkbox"/> 動画配信 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <p>動画編集の方法について、機器は障害者サービス備品の借用や編集技術の研修が必要なることを確認。また、HPサーバーにあまり負担をかけない短時間のもので効果的な事例を他市等で情報収集することとした。企画内容については、図書館の利用案内とした。平成29年度中に企画書としてまとめる。</p> | <p>他市等で情報収集した。効果的効率的な方法で動画配信をH30年度に行う。</p> | 実績なし | 実績なし |
| | * メールマガジン・SNSの活用の検討 | | | <input type="checkbox"/> メールマガジン・SNS活用に係る検討 | <input type="checkbox"/> 検討結果に基づく対応 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <p>平成29年度にメルマガを発行している他市情報を集め、新刊案内とイベント紹介をベースにしたものを作成し毎月発行を目指す。</p> | <p>講演会のPRを枚方市ツイッターで行った。</p> | (同左) | <p>枚方市立図書館公式ツイッターのアカウントを取得し、図書館に関する様々な情報発信を開始した。</p> |
| | * 全児童・生徒・教員への貸出カードの発行 | | | <input type="checkbox"/> カード発行に向けた計画作成 <input type="checkbox"/> 予算要求 | <input type="checkbox"/> 予算化後計画に従いカード発行 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <p>市内全小学校の新1年生に対して、利用案内および保護者向けの案内の配布し、登録申込書を添付。利用登録促進を図った。</p> | (同左) | (同左) | (同左) |
| | * 学校を通じた児童・生徒・保護者への周知(利用案内・おすすめ図書リスト等の配布) | | | <input type="checkbox"/> 学校への配布資料内容の選定・作成 <input type="checkbox"/> 予算要求 | <input type="checkbox"/> 予算化後に資料の作成・配布 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <p>新1年生向けの利用案内および保護者向けの案内の配布を行った。 幼児から小学生向け「おすすめの子どもの本」リスト、中学生・高校生向け「おすすめの本」リストを作成し、市内全小中学校へ配布した。</p> | (同左) | (同左) | (同左) |
| | * 充実した障害者サービスの周知 | | | <input type="checkbox"/> 周知策の検討 | <input type="checkbox"/> 検討結果に基づく周知の実施 <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <input type="checkbox"/> 同左 | <p>障害者サービスに関わるさまざまな情報を、ホームページや利用案内、図書館ニュース「ほんわか」等を通じて定期的に提供しているほか、点字・録音資料の到着情報についても、中央図書館録音図書増加目録や近畿地区の図書館等が協力して作成している近畿視情協点字・録音図書新刊案内を発行して情報提供に努めた。</p> | <p>・障害者サービスに関わる様々な情報をホームページに掲載するほか、利用案内や図書館ニュース「ほんわか」等は点字版・録音版など利用者が希望する形態に変換して定期的に提供した。 ・点字・録音資料の到着情報についても、中央図書館が作成している録音図書増加目録や近畿地区の図書館等が協力して作成した「近畿視情協点字・録音図書新刊案内」を通じて提供した。</p> | <p>・障害者サービスに関わるさまざまな情報をホームページに掲載するほか、利用案内や図書館ニュース「ほんわか」等は点字版・録音版など利用者が希望する形態に変換して定期的に提供した。ホームページでは中央図書館のアクセスのページに画像をくわえ、わかりやすくする工夫をした。 ・点字・録音資料の到着情報についても、中央図書館が作成している録音図書増加目録や近畿地区の図書館等が協力して作成した「近畿視情協点字・録音図書新刊案内」を通じて提供した。</p> | <p>・障害者サービスに関わるさまざまな情報をホームページに掲載するほか、利用案内や図書館ニュース「ほんわか」等は点字版・録音版など利用者が希望する形態に変換して定期的に提供した。ホームページでは中央図書館のアクセスのページに画像をくわえ、わかりやすくする工夫をした。 ・点字・録音資料の到着情報についても、中央図書館が作成している録音図書増加目録や近畿地区の図書館等が協力して作成した「近畿視情協点字・録音図書新刊案内」を通じて提供した。</p> |
| | | | | | | | | | → | <p>サービス内容の周知に関する満足度調査の結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は43.3%、録音図書の貸出を知っていた割合は25.8%、対面読書を知っていた割合は14.4%、サービスを知らなかった人の割合は54.6%であった。</p> | <p>サービス内容の周知に関する調査の結果は、点字図書の貸出を知っていた人の割合は29.1%、録音図書の貸出を知っていた人の割合は19.4%、対面読書を知っていた人の割合は7.9%、サービスを知らなかった人の割合は43.7%であった。</p> | <p>サービス内容の周知に関する調査の結果は、点字図書の貸出を知っていた人の割合は32.7%、録音図書の貸出を知っていた人の割合は21.8%、対面読書を知っていた人の割合は7.9%、サービスを知らなかった人の割合は30.7%であった。</p> | |